

バナアツ便り No. 3



青年海外協力隊
細川 伸夫
職種：小学校教諭



学校給食準備中

若干肌寒い常夏の国から、こんにちは。こちらはこれから冬（乾季）に突入です。去年の経験を生かして乗り切りたいと思います。5月の中旬で1学期も無事終了し、2週間の休みに入っているところです。4月から新しいスタートをきられた皆さん新生活にはもう慣れましたか？私は、一学期が終了し、残りの任期も刻々と迫っている中、やり残したことはないか？もっと貢献できることはどんなことだろう？と日々考え、活動しております。

今回は引っ越し後日談をお知らせしたいと思います。一年以上ローカルハウスに住み続けるといろいろ愛着（あきらめではない）もでてきて、もうこの家で任期が終了してもいいやというような思いがしてくるものです。新学期を前に配属先の小学校でも教員の大幅な異動があり、予定では使用するはずだった家が空いてしまったので引っ越ししてもいいよと言われたのがはじまりでした。ニュアンス的に悲しいことですが余っていると言われ一度は断りました。それでも校長が直接、移動しなさいということ言われたので意を決して引っ越しをすることになりました。窓が一つだけの家から窓が8つもある家へ引っ越すことになりました。寝室が2つとダイニングがひとつの豪邸にです。あんまり広すぎて落ち着かない日々を過ごしていましたが慣れというのは恐ろしいもので前の家には二度と戻りたくありません。雨漏りや浸水の心配もありません。人間らしい生活はこのようなものだったのか思い出すことができました。それから一番改善された点は読書を楽しめる環境になったことです。もう懐中電灯で本をよむこともありません。水道も室内に設置されており、環境が改善されたことを考えると良い思い出になりました。しかし、現地の住民の中に水が不足している環境の中でも生活している方々が多くいます。またハリケーンの影響で校舎が破壊され、学校がいまだに始まっていないところもあります。システムさえ整えば十分に教育も行き届くとおもうのですが、それは簡単なことではありません。その中でも出会った人々と直接関わることを生かして同じ目線で問題に取り組めればいいとも考えて活動しています。



ボクシング大会にて



さよならローカルハウス



引っ越し先 ♡